

# 朋流

OCT.20.2012 Vol.84

夢を語れ!ロマンを抱け!人々のしあわせ、平和のために!!

山内徳信(参議院議員 元読谷村長)

## CONTENTS

朋流一味	2_3
キャンパス第四期整備計画	4_5
善友館・News & Topics	6
講演とシンポジウム開催ご案内	7
同窓会役員・2011年度事業報告・2012年度事業計画	8
2011年度決算書・2012年度予算書	9
公開講座情報	10
学内福祉フェア開催報告・テレビ放送情報	11
鴨付通信・文化講演会の案内	12

(PHOTO by OBATA)

## 「悲しみの鉄腕アトム」

同朋大学学長 浅野玄誠



存在が発展的に継続するというのはわたしたちの妄想にすぎません。同様に、経済が右肩上がりに上昇するということもあり得ない幻想でした。人は「失われた20年」などと称して、経済的發展のままならぬ時間を悔恨の念をもって振り返っています。しかし、日本人が失ったのはこの20年だけではないでしょう。技術や経済を頼りにするようになったのも長い時間、わたしたちは大切なものを失ってしまっていたのです。

● 福島の原子力発電所が爆発を起したとき、わたしは、これだけの科学技術を駆使しているのだから、なにがしか危機を脱する手段を持っているはずだと信じていました。

ところが、わたしたちのものです。ところが導入されたのはアメリカ製の、キャタピラーに棒が着いただけの粗末なカメラロボットでした。これには失望しました。ロボットに詳しい友人に「アシモ君は使えないのか?」と聞いたら、「アシモは防塵防熱になってないし、湿気には極めて弱い。しかも彼が稼働できるのはわずかな時間ではない」という回答でした。

ところが人気が衰えたわけでもないのに番組は突然最終回を迎えました。アトムには七つの威力があります。原作本ではその第一のものは「善悪を見分けられる電子頭脳」(後に善人と悪人を見分ける能力に変更)でした。アニメ版には最初からこの機能は謳われていませんでした。ところがアトムの作品中番人気があった「地上最大のロボット」に登場するプルートとアトムとの戦いでは、プルートと戦うために、自ら望んで百万馬力に増強し、熱暴走してしまつたアトムと、悪の最強ロボットであるプルートのどごか人間的な悲しみに満ちた表情が印象的でした。

● アトムの最終回、アトムは人類を救うために核弾頭を誘導して太陽に飛び込んで崩壊します。機械と人間はどこまで融和できるかをテーマにしながらも、善悪を分かつ不可能で、科学的技術は破壊されることに

よってしか発展を得ることができないという非連続性、そのことに作者は気づいたのではないでしょう。科学も経済も、人間が生み出したものは継続的に発展することはありません。では人間はどうかといえ、人間は、自ら生み出した自我の滅をもつて新しい地平に進むのです。わたしたち人間には、そのことを可能ならしめる絶対無限の妙用」というのはたつきかけがあります。そのことに気づくことが大切なのです。



## 「北海道支部より」

北海道支部 江隈智

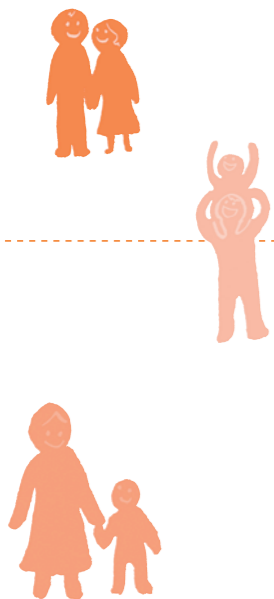


● 懇親の席に場所を移し、20人ほどの同窓生達が和やかな雰囲気です。ギスキャンをつきながら昔話に花を咲かせたという会であった。

● 思い返すと立ち上げの時は、はたしてどれくらい同窓生が賛同してくれるのか不安があった。いざ立ち上げてみると不安よりも賛同、協力してくれる先輩達、後輩達の有り難さに心と体が動かされた4年間であったと思う。

● 考えることもある。年齢の差はあっても仕事の損得関係の無かつた学生時代に名古屋で過ごした同窓生が集まり気兼ねなく話せる同窓会は私にとって刺激であり非常に貴重な場であると感じる。

● 今後の同窓会は、賛同した同窓生が親睦を深め、学生時代の初心を思い出し、同朋大学の建学の精神に立ち返るような会になっていけばと願っている。



● 去る6月4日、第4回同朋大学同窓会、北海道支部総会が真宗大谷派北海道教務所にて開催された。「年に一度、広い北海道各地より同朋大学同窓生が札幌に集まる」という思いで始まった北海道支部同窓会も第4回を迎え、なんと北海道で認知され軌道に乗りつつあるのかと思うことである。先日、九州大谷短期大学の卒業生と話す機会があり「同朋大学が北海道で同窓会を作ったんだから、俺たちも作ろっか」と話していたが、このように地域で動きになっていくことは嬉しいことである。

● 本年の同窓会は、浅野玄誠新学長と北海道支部立ち上げより「尽力下されている尾畑文正前学長をお迎えし、総会後に大学の現状、これからの同朋大学の在り方についてお話を頂き、引き続き同窓生より活発な質問の場となった。その後、

● 北海道の寺院関係者の出身学校は圧倒的に大谷大学、京都専修学院にて占められており、その他の学校卒業生は一種の疎外感を持つことがある。そのような状況の中、意識的な人も無意識であった人も心の中で求めていた集まりが同窓会であったのだと思う。考えると、今の仲間の仕事に関係していることが多く、場合によっては関係上話す内容を



# キャンパス 第四期 整備計画

大 学キャンパスの第四期整備  
計画が進行中です。

**研** 究棟としてなじみの深かった「知成館」(ちじょうかん)は、2010年に完成した新しい研究棟「博聞館」(はくもんかん)にその役目を移し、この8月から取り壊しが始まりました。さらに、旧講堂の「朋儕館」(ほうせいかん)もお盆明けから取り壊しが始まっています。

**こ** の二つの建物は、同朋大学で一番古く、先生方や卒業生の方には思い出のたくさんある建物だと思います。キャンパス内がキレイになっっていくことは、とても喜ばしいことですが、愛着のある古い建物が無くなっていくのは、やはり寂しいことでもあります。

**ま** た、この夏期休暇中には「成徳館」(じょうとくかん)の古くなった空調設備の改修も行われています。各階の教室の天井を全て剥がし、配管をいれかえるという大変大がかりな工事です。これに

よつて成徳館は11月まで空調が使用できません。夏期の集中講義や補講は、空調の効く「博聞館」に会場を移し開講しましたが、職員は空調の効かない中で通常業務を行っています。

**工** 事のため、しばらくの間キャンパス内は騒然としています。学生の皆さんには少し辛抱していただき、11月以降は新しく整備されたキャンパスで学生生活を送っていただきたいと思っています。

11月になるのが  
待ち遠しいですね!



## 「講演とシンポジウム」開催のご案内

<主催>同朋大学 同朋大学社会福祉学会・同朋大学卒社会福祉関係従事者のつどい

仮テーマ

福祉分野のニーズに対応した人材育成！あなたの将来は見えているか？

昨今就職は「就職氷河期」と言われた2000年頃より厳しくなっており、この要因は、求人応募数の減少ではなく、企業等がしっかりとした職業観やスキルを持った優秀な人材を求めているのであって、福祉分野においても同様な現象が起きてきています。

今後、大学生は早くから「勤労観」「職業観」を身につけるとともに、福祉職として必要な専門的な知識・技術等、自己の能力や可能性を伸ばし、自分の将来像をしっかりと持つ必要があります。

今回は、事前にアンケートを実施し大学生の皆さんが知りたい事や希望しているテーマ等を中心に、「福祉職のプロフェッショナル」とはいかなるものか、また「福祉現場が求めている人材」とは何かを卒業生とともに考え、自己のしっかりとした将来像を見極めるきっかけとしていただくために開催します。

### Information

平成24年**12月8日**(土) 14:00~19:00

**第1部** 14:00~17:30

**第2部** 18:00~19:30 交流会

同朋大学成徳館 5階J502号 他

基調説明とグループワークなどを予定しています。

[基調講演] (仮テーマ)

「福祉分野のニーズに対応した人材育成」

参加費 無料(ただし第2部は会費あり)

様変わりした大学で、プチ同窓会をしませんか？  
参加をお待ちしております！

参加希望の方は、11/20(火)までに電話かFAXでお申し込みください

<申し込み問い合わせ先>

- 同朋大学社会福祉学部研究室：目黒 [TEL] 052-411-1467・[FAX] 052-411-1154
- 丹羽正雄 (0568-73-2815・090-6575-8385)・石黒学 (090-1751-9499)

### Photo Gallery フォト・ギャラリー



多目的室



2Fクラブハウス廊下



善友館・南棟(外観)



南棟卓球室



硬式野球部雨天練習場(外観)



硬式野球部雨天練習場

Pick up!

「善友館」が完成しました。  
第4期学園整備計画が進む中、新クラブハウス棟「善友館」が完成しました。  
善友館は北棟と南棟、硬式野球部雨天練習場にわかれており、北棟には各クラブサークルの部屋や講義で使用する多目的室、南棟には卓球場・生協が入っています。



善友館・北棟(外観)

News & Topics

女子バスケットボール部

おつかれさま

東海学生下部リーグが  
終了しました 今年度より旧2部、3部が合併



エントリーメンバー全員で最後まで勝利を目指して戦いましたが、残念ながら敗退。

たくさんの応援ありがとうございました。

<Fブロック>

第1戦	本学	148	-	18	星城大学
第2戦	本学	102	-	51	南山大学
第3戦	本学	89	-	55	名城大学
第4戦	本学	66	-	18	名古屋女子大学

※4勝でFブロック1位通過を決定。

<順位決定トーナメント>

第1戦	本学	37	-	80	名古屋学院大学
-----	----	----	---	----	---------

※最終順位…下部リーグ 3~6位  
(3位決定以降の試合がなかったため)

柔道部 女子柔道部

東海大会 おめでとう!!  
個人で優勝・3位!

平成24年8月28日(火) 愛知県武道館にて開催された第29回 東海学生女子柔道体重別選手権大会において、本学学生が優秀な成績を収めました。おめでとうございます。

鈴木さんは9月29日(土)、30日(日)の全日本学生柔道体重別選手権大会(全国大会)への出場権を獲得しました。

引き続き全国大会での健闘を祈念します。応援よろしくお祈りします。

Congratulations!

女子 70kg級 優勝 全国大会出場権獲得

鈴木 流風  
(同朋大学 社会福祉専攻 4年)

女子 52kg級 3位

堀内 玲  
(同朋大学 社会福祉専攻 3年)





同朋大学同窓会 2011年度 決算書

(2011年4月1日~2012年3月31日)

●収入の部 (単位:円)

科目	決算額	予算額	差異(△減額)	備考
同窓会費	5,650,000	6,125,000	△ 475,000	@25,000 × 226
受取利息	6,328	1,000	5,328	
総会等参加費収入	108,000	120,000	△ 12,000	総会・北陸懇親会・四国懇親会
前年度繰越金	6,756,453	6,756,453	0	
合計	12,520,781	13,002,453	△ 481,672	

●支出の部

科目	決算額	予算額	差異(△減額)	備考
会議費	124,220	250,000	△ 125,780	
総会	94,120	200,000	△ 105,880	
役員会	30,100	50,000	△ 19,900	
事業費	3,535,559	3,750,000	△ 214,441	
奨学金	450,000	550,000	△ 100,000	@100,000 × 3名 @30,000 × 5名
支部助成	365,165	700,000	△ 334,835	地域・職域等への助成
公開講演会	980,917	800,000	180,917	
「朋流」印刷	373,800	500,000	△ 126,200	「朋流」印刷費 8500部
「朋流」発送費	1,365,677	1,200,000	165,677	朋流 総会案内、卒業生関連奨学金案内 発送費等
事務費	535,545	1,265,000	△ 729,455	
名簿管理費	239,400	240,000	△ 600	年管理費
通信費	81,715	80,000	1,715	支部会等案内 送付代
印刷費	71,460	40,000	31,460	総会出欠葉書印刷代
渉外費	3,680	5,000	△ 1,320	
出張旅費	74,270	200,000	△ 125,730	
雑費	35,020	200,000	△ 164,980	弔費他
人件費	30,000	500,000	△ 470,000	事務作業補助のため
大学への協力金	700,000	700,000	0	
出版助成	0	0	0	
同朋大学野球部後援会助成	600,000	600,000	0	
同朋大学柔道部後援会助成	100,000	100,000	0	
事業費引当預金	5,342	1,000	4,342	
予備費	0	6,336,453	△ 6,336,453	
計	5,600,666	13,002,453	△ 7,401,787	
次年度繰越金	6,920,115	0	6,920,115	
合計	12,520,781	13,002,453	△ 481,672	

前年度事業引当預金残高 7,875,408円  
当年度事業引当預金 5,342円 引当預金残高 7,880,750円

同朋大学同窓会 2012年度収支予算書

(2012年4月1日~2013年3月31日)

●収入の部 (単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	差異(△減額)	備考
同窓会費	6,500,000	6,125,000	375,000	@25,000 × 260名(5/1現在 学部218名 別科42名)
受取利息	6,000	1,000	5,000	
総会等参加費収入	120,000	120,000	0	@3,000 × 40名
前年度繰越金	6,920,115	6,756,453	163,662	
合計	13,546,115	13,002,453	543,662	

●支出の部

科目	予算額	前年度予算額	差異(△減額)	備考
会議費	350,000	250,000	100,000	
総会	300,000	200,000	100,000	懇親会費用 200,000円
役員会	50,000	50,000	0	常任幹事会等 費用
事業費	3,780,000	3,750,000	30,000	
奨学金	480,000	550,000	△ 70,000	@100,000 × 3名 @30,000 × 6名
支部助成	700,000	700,000	0	地域・職域等への助成
公開講演会	800,000	800,000	0	文化講演会 謝礼・広告・ポスター
「朋流」印刷	500,000	500,000	0	朋流印刷費 8500部
「朋流」発送費	1,300,000	1,200,000	100,000	朋流 総会案内、卒業生関連奨学金案内 発送費等
事務費	965,000	1,265,000	△ 300,000	
名簿管理費	240,000	240,000	0	
通信費	90,000	80,000	10,000	総会案内費
印刷費	80,000	40,000	40,000	封筒・葉書等
渉外費	5,000	5,000	0	
出張等旅費	150,000	200,000	△ 50,000	各支部総会等出張旅費
雑費	200,000	200,000	0	卒業記念品・弔費等他
アルバイト	200,000	500,000	△ 300,000	事務作業補助のため @1,200円 × 8時間 年間約20日分
大学への協力金	700,000	700,000	0	
出版助成	0	0	0	
同朋大学野球部後援会助成	600,000	600,000	0	
同朋大学柔道部後援会助成	100,000	100,000	0	
同朋大学バスケットボール部後援会助成	100,000	0	100,000	
事業費引当預金	5,000	1,000	4,000	預金残高 (7,880,750円) に対する利息5000円
予備費	6,946,115	6,336,453	609,662	
合計	13,546,115	13,002,453	543,662	

同朋大学 同窓会役員 (任期2012年8月1日~2013年7月31日)

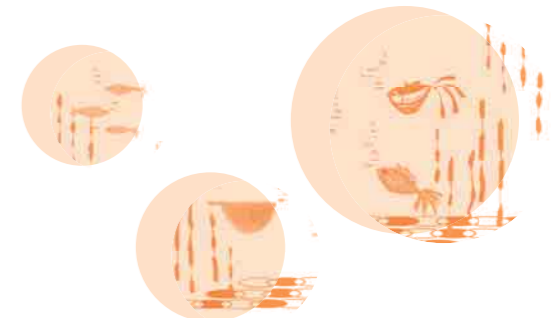
顧問	池田 勇諦 B4 飯野 俊英 会友 大河内智見 貞治B1 沼波 政保 J2 武元 勲 会友 中村 薫 会友	<第1部会常任幹事> 神田 明 貞治B1 織田 顕信 B8 滝澤 馨 B11 中村 可人 B14 池井 隆秀 B18 吉田 昇代 B21 松本 明 B25 戸松 憲仁 B32 岩田 竜英 B34 林 晃雄 B36 井上 重信 院1	<第3部会常任幹事> 碧海 和子 J1 安藤 綱子 J10 浅野 修 J13 戸田 大介 J14 加藤 文子 J19 藤嶽 五月 J19 玉村 文明 J22 中條 敦仁 J27 久我 一斗 J34	北海道支部 支部長 朝日 順悟 B32 副支部長 手嶋 公俊 B34 事務 井上 琢磨 B42 事務 江隈 智 別9	四国支部 支部長 前田 伸和 S14 副支部長(高知) 尾崎 靖司 J30 副支部長(愛媛) 浅瀬 秀教 B34	関東支部 支部長 坪内 秀樹 別6 副支部長 新野 和暢 B53	三真会 支部長 松本 明 B25 副支部長 天野 義敬 B28	社会福祉関係従事者の集い 支部長 丹羽 正雄 S7 副支部長 宮浦 幸昭 S19	広島支部 支部長 醍醐 直喜 B33 副支部長 植田 泰之 S13	岡山支部 支部長 高月 和紅 S3 副支部長 片山 修二 S12	※は総会において新たにご尽力していただくことになった方々です。
----	--	--	---	--	---	--	---------------------------------------	--	---	--	---------------------------------

A. 2011年度事業報告(2011.4.1~2012.3.31)

1. 2011年度 総会開催	日時:2011年6月18日(土)17:00~21:00 会場:同朋大学 会議室 懇親会:同朋学園 食堂「勝友館」19:00~20:00
2. 支部活動 □北海道支部 総会・懇親会	日時:2011年5月30日(月)16:30~17:30 会場:北海道教務所 会議室 懇親会(18:30~20:30)
□三真会	日時:2011年7月20日(水)16:00~ 会場:三河別院内 東別院会館 懇親会(18:30~20:30)
□北陸支部 懇親会	日時:2011年9月30日(金)19:00~21:00 会場:ホテル日航金沢
□社会福祉 従事者の集い	日時:2011年7月2日(土)14:00~17:00 会場:同朋学園 博覧館 4階 めいおんホール テーマ「福祉を学ぶ意義を探る~生活者の実情、思いから」 講師:栗木 宏美 氏(NPO法人路の里 理事長) 講師:山岡 亨 氏(救護施設・愛護厚生寮 寮長) ★第二部交流パーティー 日時:2011年11月26日(土)14:00~17:00 会場:同朋学園 博覧館 4階 めいおんホール ★研究発表 ★学生幹事企画「子どもにふれよう」 テーマ「福祉を学ぶ意義を探る~生活者の実情、思いから」 講師:浦野 愛 氏(NPO法人レスキュー・ストロウヤード常務理事) 講師:中野 見夫 氏(シャンソン歌手) ★第二部交流パーティー
□その他	2005~2010年度別科同窓会 昭和59年度仏教学科同窓会 昭和47年度同期会同窓会 2007年度別科同窓会など
3. 第28回 文化講演会開催	日時:2011年11月5日(土)16:00~18:30 会場:同朋大学 12Fホール テーマ 東日本大震災チャリティ 「水島の歌声ウクライナの歌姫 ナターシャ・グシー コンサート」 講師:ナターシャ・グシー 氏
4. 「朋流」発行	No.83号 2011年8月発行
5. 第34回 同窓会奨学生	教授会で選考された、学部生3名へそれぞれ10万円、学部留学生2名および大学院研究科へそれぞれ3万円の奨学金を支給
6. 卒業・修了記念品贈呈	実用的で記念になる品物を贈呈(「仏教聖典」)
7. 大学祭助成	なし

B. 2012年度事業計画(2012.4.1~2013.3.31)

1. 2012年度 総会開催	日時:2012年6月30日(土)17:00~21:00 会場:名鉄ニューグランドホテル 懇親会:名鉄ニューグランドホテル
2. 支部活動 □北海道支部 総会・懇親会	日時:2012年6月4日(月)16:00~17:30 会場:北海道教務所 会議室 懇親会(18:30~20:30)
□三真会	日時:2012年8月7日(火)16:00~ 会場:三河別院内 東別院会館
□その他	北陸支部懇親会、社会福祉関係従事者の集い、 四国支部、関東支部、ゼミ、サークルOB会など に助成を行う。
3. 第29回 文化講演会開催	日時:2012年10月27日(土)14:00~16:30 会場:同朋大学 成徳館 テーマ「犠牲のシステム 福島・沖縄」 講師:東京大学教授 高橋 哲哉 氏
4. 「朋流」発行	No.84号 2012年10月発行
5. 第35回 同窓会奨学生	教授会で選考された、学部生3名へそれぞれ10万円、学部留学生2名および大学院研究科4名へそれぞれ3万円の奨学金を支給予定
6. 卒業・修了記念品贈呈	実用的で記念になる品物を贈呈(内容は未定)
7. 大学祭助成	なし



## 住所変更用紙

変更がございましたら下記に記入の上、裏がえしにして官製はがきに貼り付けてご返送ください。

同窓会番号	
(封筒宛名の右下の番号です)	
卒業	<input type="checkbox"/> 仏教文化学科(仏教学科) <input type="checkbox"/> 別科
	<input type="checkbox"/> 日本文学科(国文学科) <input type="checkbox"/> 社会福祉学科
(卒業年 年 3月)	
氏名	
(旧姓)	
変更事項	新住所 〒□□□—□□□□
	新電話番号 — —
	E-mail @
	新勤務先

ご記入いただいた個人情報は同窓会の目的以外には使用しません

のりしろ

キ  
リ  
ト  
リ  
セ  
ン

の  
り  
し  
ろ

## Bridge over Campus and Society.

同朋大学同窓会誌

# 朋流

クラス会、サークルOB会、ゼミOB会、地域の同窓会など、同窓生の集まりがある時には、同窓会事務局までお知らせください。郵送費など会の運営に関わる費用の一部を助成することができます。  
(事務局)

※住所を変更される方は、上の用紙にご記入いただき、切り取って官製ハガキに裏返しにして貼り付け同窓会事務局までお送り下さい。

〒453-8540  
名古屋市中村区稲葉地町7-1  
同朋大学 同窓会事務局



## 学内福祉フェア開催報告

9月4日(火)9月5日(水)の二日間、博覧館2F大会議室を会場に、厚生部キャリア支援センター主催による学内福祉フェア(福祉系施設合同就職説明会)が開催されました。

学内福祉フェアは2日にわたり、約30法人の採用担当者にお集まりいただきました。

初日は13時の開始直後から大勢の学生が集まり、熱心に担当者の説明を聞いたり、質問する姿が見られました。

## INFORMATION

### 学内公開講座のお知らせ

#### 知文会館公開講座

追いかける忙しさの中で、ふと、足を止め、静かに人生を考えてみませんか。

名古屋駅近くにある、同朋大学の研修施設「知文会館」で行われる公開講座「真宗講座」のご案内です。

真宗講座 **開催日** 毎月29日 **参加費** 無料  
**会場** 知文会館

10月29日(月)	知文会館報恩講	同朋大学名誉教授 織田 顕信 先生
11月29日(木)	歎異抄第17条	同朋大学 尾畑 文正 教授
12月29日(土)	歎異抄第18条	同朋大学 田代 俊孝 教授
<b>2013年</b>		
1月29日(火)	歎異抄後序1	同朋大学 中村 薫 教授
3月29日(金)	歎異抄後序2	同朋大学 浅野玄誠 学長

#### 人生を考える講座

11月1日(木)	善財童子の南遊	同朋大学 中村 薫 教授
<b>2013年</b>		
1月11日(金)	『善魔と悪魔』	西源寺住職 藤原 正雄 先生
3月1日(金)	逢春有作	同朋大学 石川 洋子 教授

#### 同朋大学仏教学科・連続公開講座 「親鸞と現代」第Ⅱ期 ～東日本大震災チャリティ～

3・11を忘れないこと、問い続けていくこと、できることをし続けていくことが大切と考え、連続講座の第Ⅱ期を企画いたしました。混迷する現代社会において私たちがどう生きていくのか。浄土真宗の宗祖である親鸞の生きざまに、その教えに、あらためて学んでいきたいと思います。同朋大学の専任教員がそれぞれの専門分野から、課題に向き合い、問題提起します。事前申し込み不要で、どなたでも受講できます。当日は古本市を開催いたします。

10月25日(木)	16:30~18:00 <b>会場</b> Doプラザ閣蔵	田代 俊孝 教授
11月22日(木)		張 偉 准教授
12月20日(木)		浅野 玄誠 学長

**受講料** 500円(一口)

※全額、東日本大震災支援のために用いさせていただきます。ご協力をお願いします。

再放送などの情報はHPで



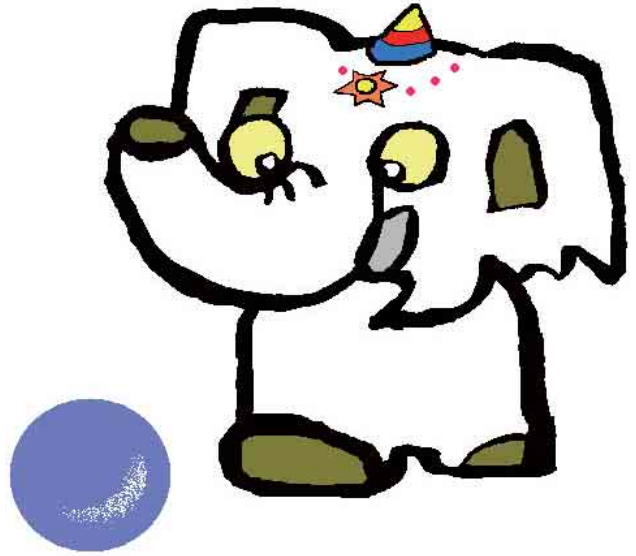
同朋大学 文学部人文学科映像文化コースにて客員教授を務める中江裕司監督がNHK BSプレミアムの番組を監督したドキュメンタリーが8月17日に放映されました。戦後沖縄に、550頭の豚を輸送したハワイの日系移民たちの故郷を思う気持ちに感激し、BEGINが豚を運んだ最後の生き残りの人物と面会。感謝の心を歌に託してコンサートを開きます。BEGINと交流のある、中江裕司監督がメンバーに密着し、ハワイと沖縄の深い絆と友情の物語を描いた番組です。



## 鴨付通信

とうとうこの日がやってきました。知成館(旧研究棟)と朋せい館(旧講堂)が壊される日です。

ずいぶん前から、その解体スケジュールは知っていましたが、実際に重機の大きなハサミが5階を壊し始めたときは、何とも言えず悲しい気持ちになりました。重機は放水しながらガリガリ建物を壊していきます。窓がひしゃげ、壁が崩れ落ち粉塵が上がります。私たち職員は成徳館の2階事務所の窓から、その光景を眺めていました。職員には卒業生が多いので、実際に目の前で壊されている知成館(旧研究棟)には、思い出がたくさんあります。「○○先生の研究室が壊されてるね」とか「国研の壁が落ちた!」などと話しながらずっと見ていました。朋せい館(旧講堂)は入学式や卒業式をした場所ですし、大学祭のコンサートや、劇団「葦」の活動の場所でもありました。外壁が徐々に壊され、吹き抜け階段の壁があらわになると、そこに力強く大きく「同朋!」とペンキで書かれていました。その文字を見て、とても感傷的な気持ちになってしまいました。整備工事はどんどん進んで新しい建物が出来てきます。でも、壊された建物のことも忘れずにいたいと思いました。



2012年10月20日発行

### 同朋大学同窓会

〒453-8540 名古屋市中村区稲葉地町7-1

TEL 052-411-1111

内線(375)

E-mail: dosokai@doho.ac.jp

## 第29回 同朋大学同窓会文化講演会

# 犠牲のシステム 福島・沖縄

参加費無料  
定員 200名



**講師** 東京大学大学院教授 高橋哲哉 氏

**日時** 2012年10月27日(土)14:00(13:30開場)

**会場** 同朋大学

**問い合わせ先**：同朋大学 エクステンションセンター 同窓会文化講演会 係 TEL.052-411-1207

### 高橋哲哉(たかはしてつや)氏 プロフィール

1956年福島県生まれ。専攻は哲学。東京大学大学院総合文化研究科教授。

著書に『逆光のロゴス』『記憶のエチカ』『デリダ』『戦後責任論』『歴史／修正主義』『心』と戦争』『証言のポリティクス』『物語の廃墟から』『反・哲学入門』『教育と国家』『靖国問題』『国家と犠牲』『状況への発言』『殉教と殉国と信仰と―死者をたたえるのは誰のためか』(高橋哲哉、森一広、菱木政晴 共著)、『靖国問題入門』など。最新刊に『犠牲のシステム 福島・沖縄』(集英社新著)、『いのちと責任』(高史明氏との共著、大月書店)がある。